



アセットの準備：アノテーション OnCommand Insight

NetApp
April 01, 2024

目次

アセットの準備：アノテーション	1
会社のアノテーションを作成します	1
データセンターのアノテーションの設定	1
階層のアノテーションを設定します	2
サービスレベルのアノテーションを設定します	3
カスタムの環境アノテーションを設定します	4

アセットの準備：アノテーション

アノテーションを使用すると、選択したアセットに特定のタグやラベルを関連付けることができ、アセットの管理やレポート作成に役立ちます。

会社のアノテーションを作成します

このガイドでは、照会、フィルタリング、アラート通知、およびレポートに使用できる環境のアノテーションを作成、カスタマイズする方法について説明します。

アノテーションは、環境内の特定のアセットに関連付けるメモまたはタグです。OnCommand Insight には、アセットに対して必要に応じて設定できるアノテーションがいくつか用意されています。また、ビジネスニーズに基づいて独自のカスタムアノテーションを作成することもできます。

ここで紹介する例は、新しいお客様の環境で最初に構成され、追加のアクションのベースラインとして使用されるものです。アノテーションのニーズは環境によって異なる場合がありますが、ここで説明する手順を参考にして、必要なアセットに必要なアノテーションを設定できます。

このガイドの説明は、次の前提に基づいています。

- OnCommand Insight サーバをインストールし、適切なライセンスを取得しておきます。
- すべての選択肢ではなく、ベストプラクティスを検討したいと考えています。
- これらは単なる例であり、特定のニーズが異なる可能性があることを理解している。

このガイドでは、既存のアノテーションの変更とカスタムアノテーションの作成について説明します

この例の環境では、データセンター、ティア、サービスレベル、環境に応じてアセットを一覧表示できるようにしたいと考えています。

データセンターのアノテーションの設定

データセンターのアノテーションは、通常、ストレージアレイ、スイッチ、または物理ホストのアセットをデータセンターの場所に関連付けるときに使用します。データセンターのアノテーションを環境内の他のアセットに関連付けることもできます。

手順

- 管理者権限を持つユーザとして Insight にログインします。
- >[アノテーション]*を選択します。
- アノテーションを選択し、[Edit]*アイコンをクリックします。
- [+Add]*をクリックし、最初のデータセンターの名前と概要 をアノテーションリストに追加します。
- 他のデータセンターについても同じ手順を実行します。
- 完了したら、*[保存]*をクリックします。

データセンターのアノテーションの例：

名前	説明
DC1_SVL	サニーベールビル1
DC2_SVLb3	SVL Bldg3エンジン
DC3_NY	ニューヨーク
DC4_ロンドン	ロンドン
...	

Insightには、ニーズに合わせて値を定義または変更できるアノテーションタイプがいくつか用意されています。これらのデフォルトのアノテーションタイプは、Insight Web UIとレポートで常に使用できます。新しく作成したカスタムアノテーションはInsight Web UIに表示されますが、レポートで使用できるようにするには追加の手順が必要です。レポートにカスタムアノテーションを含める方法については、[を参照してください](#)。ネットアップのカスタマーサポート担当者にお問い合わせください。



ユーザによっては、アセットの場所をデータセンターのアノテーションではなく国のアノテーションで設定したり、データセンターのアノテーションと組み合わせて設定したりする傾向があります。ただし、国のアノテーションはInsight Data Warehouseではカスタムのアノテーションタイプとして扱われるため、データセンターと同じようにレポートに表示されない場合があります。

階層のアノテーションを設定します

階層のアノテーションは、コスト計算などの目的でアセットを対応する階層に関連付けるために使用します。Insightには、階層のデフォルトのアノテーションが多数用意されています。階層の命名規則に応じて変更したり、必要に応じて独自の階層を作成したりできます。

階層のアノテーションを設定する際は、次の点に注意してください。

- コストはギガバイトあたりのコストです。
- 階層1、2、3は、ディスクタイプ別にストレージアレイレベルで構成されるデフォルトの階層です。ただし、多くのお客様は、1つのアレイ内で複数のディスクタイプを使用したり、同じタイプのアレイ間でディスクタイプを使用したりすることになります。
- ディスクタイプやディスク速度に基づいて階層のアノテーションを作成することを推奨します。これは一般的な階層化の手法であり、お客様独自のニーズが異なる場合があります。

手順

- アノテーションを選択し、[Edit]*アイコンをクリックします。
- 必要に応じて、*+追加*をクリックし、最初の階層の名前と概要 をアノテーションリストに追加します。
- 他の階層についても同じ手順を実行します。

- 完了したら、*[保存]*をクリックします。

階層のアノテーションの例：

名前	説明	GBあたりのコスト
Auto Tier（自動階層）	自動ストレージ階層化	0.5
ティア1 SSD	オールフラッシュアレイ	0.5
ティア2 SAS	（ SAS ）。	0.25
ティア3 SATA	SATA	0.1
...		

サービスレベルのアノテーションを設定します

サービスレベルのアノテーションは、アセットをそれぞれのサービスレベルに関連付けるために使用します。

サービスレベルのアノテーションは、通常、自動階層化を使用するお客様の環境でのみ設定されます。Insight Data Warehouseでは階層が推奨されます。プロビジョニングコストとプロビジョニングコストを比較する場合は、サービスレベルを使用することを推奨します顧客コスト。両方がData Warehouseに存在する場合は、サービスレベルが階層より優先されます。

手順

- アノテーションを選択し、[Edit]*アイコンをクリックします。
- [+Add]*をクリックし、最初のサービスレベルの名前と概要 をアノテーションリストに追加します。
- 他のサービスレベルについても同じ手順を実行します。
- 完了したら、*[保存]*をクリックします。

サービスレベルのアノテーションの例：

名前	説明	GBあたりのコスト
サービスレベル1	FCまたはSAS、ローカルとリモートのミラー、テープを搭載したFAS コントローラ	0.93
サービスレベル2	FCまたはSAS、ローカルおよびリモートミラーを搭載したFAS コントローラ	0.85

サービスレベル3	SATAおよびローカルミラーを備えたFAS コントローラ	0.48です
...		

カスタムの環境アノテーションを設定します

環境のアノテーションは、ラボ、研究開発、本番環境など、アセットを環境の場所や用途に関連付けるためのカスタムアノテーションです。 など Environmentアノテーションを作成してこれらのアセットに設定すると、たとえば、本番環境のアセットとは別にラボのアセットを簡単に検索、フィルタ、レポートできます。

手順

- >[アノテーション]*を選択します。
- ページの上部にある*+追加*ボタンをクリックします。
- 「* Name 」に「 Environment *」と入力します。
- 概要 *には、*アセット環境タイプ"と入力します。
- *タイプ*で、*リスト*を選択します。リストを作成するための新しいフィールドが表示されます。
- ここでは、*[Add new assets on the fly]*チェックボックスをオフのままにします。選択項目のリストに新しい環境を追加し、アセットに関連付ける場合は、このチェックボックスをオンにします。
- 最初の環境の名前と概要 を入力します。
- [+追加]*をクリックし、他の環境でも同じ手順を実行します。
- 完了したら、*[保存]*をクリックします。

環境のアノテーションの例：

名前	説明
研究室だ	研究室だ
開発	開発
PRD	本番環境
...	

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。